

2023 年度 認定施設申請のご案内

I. 認定施設とは

日本乳癌学会認定施設とは、本学会によって認定された診療・教育施設で、乳腺疾患を診療するための症例数が一定以上あり、かつ本学会が認定した専門医(以下、乳腺専門医とする)のもとで本学会の定めるカリキュラムに従った修練を行うための施設である。

II. 認定施設申請資格

- (1) 大学病院、一般病院または乳癌を主な対象とする専門施設
- (2) 乳癌の画像診断・手術療法・薬物療法または放射線治療症例数がいずれか一つの領域で年間 30 例以上行われていること(混合不可)
- (3) 乳腺専門医が常勤していること
- (4) 十分な指導体制がとられていること
- (5) 当該認定施設において乳腺疾患の全般について修練が可能であること
- (6) 諸設備の完備、教育行事の開催および研究発表がなされていること
- (7) 手術で申請する場合は NCD 乳癌登録を実施していること

III. 申請期間

2022 年 8 月 1 日～2022 年 9 月 30 日 23:59

※関連施設の申請書類は認定施設がとりまとめ、一括で申請すること

今回より郵送ではなくメールにて申請を行っていただくこととなりました。郵送での申請は受け付けておりません。

締め切り直前の問い合わせには対応できないことがありますので、日数に余裕をもって申請してください。尚、申請期間を過ぎての申請は受理できません。

IV.提出書類

作成にあたっての注意事項

・虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります

- ・手術療法、画像診断、放射線治療、薬物療法から1つ選択してください
- ・旧書式による申請書類は受けません、最新版をダウンロードしてください
- ・必ず手元に申請書類を保管してください
事務局より、申請書類について問い合わせをする可能性があります
- ・Excelのまま提出するものとPDFにして提出するものがあります（VII.参照）
いずれもVIIチェックリストにあるファイル名にして提出してください

■ 証明書

- ① 認定施設申請書
- ② 設備内容・実績報告書
- ③ 専門医履歴書(申請書の専門医氏名欄に記載をした全ての先生の履歴書が必要)
- ④ 勤務報告書(申請書の専門医氏名欄に記載をした全ての先生の勤務報告書が必要)
- ⑤-1 乳腺認定医修練カリキュラム計画書
- ⑤-2 乳腺専門医修練カリキュラム計画書
- ⑥ 認定施設における乳腺疾患に関する業績目録

※業績は申請施設名の所属であることが必須となります

- ・2020年から2021年までの乳腺疾患に関する施設における研究業績が8点以上あること
- ・査読のある全国規模の学会（日本乳癌学会地方会は可とする）、学術誌、医学誌であること（病院誌・商業誌不可）
- ・以下のような証拠となる業績のPDFを添付し、施設名を丸で囲むこと

【論文】

- ・論文別刷あるいは題名・所属・発表者名の記載されているページのみ
(但し、論文要旨が含まれていない場合は論文要旨を含むページも添付すること)

【学会発表】

- ・発表学会名、発表年月日が記載された抄録集の表紙か会期がわかるページと抄録

研究業績点数表

	欧米論文	和文論文	日本乳癌学会発表 国際学会発表	国内学会発表	日本乳癌学会地方会発表 乳腺関連研究発表*
筆 頭	10 点	6 点	4 点	3 点	2 点
共 著	3 点	2 点	1 点	1 点	1 点

*認定委員会が認定する全国規模の乳腺関連研究会

過去の乳癌学会学術総会の抄録については、会員専用ページにて閲覧可能

※COVID-19 の影響でやむを得ず研究業績の点数が不足する場合、事務局までご相談ください(内容を正確に把握させていただく為、メールにてご連絡ください)。

⑦ 認定施設に所属する関連施設

一人の専門医が指導する関連施設は 4 施設までとする

⑧ 2020 年・2021 年関連施設指導実績

⑨乳癌症例記録

- ・手術療法、画像診断、放射線治療、薬物療法何れかの領域において 30 例以上あること
- ・画像診断、放射線治療、薬物療法を選択した場合は、症例記録に詳細なレポート 30 例提出すること

※COVID-19 の影響で診療縮小がやむをえない状況であった場合、事務局までご相談ください(内容を正確に把握させていただく為、メールにてご連絡ください)。

《申請書類における患者個人情報の保護について》

- ・提出書類記入にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること
- ・施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつぎ合わせ確認が出来るようにしておくこと

各診療領域の条件については、以下の通り定める

【手術療法】

- ・2021年の症例であること
- ・専門領域選択（乳腺）まで記入した症例のみをNCD登録症例として認める
- ・症例記録の提出は不要、事務局にてNCDに照会いたします

※2022年度の申請より該当するNCD症例の見直しを行いました。該当症例につきましては別紙をご参照ください

【画像診断】

- ・2021年の初診であること
- ・乳癌症例記録(画像診断)には、初診年月・診断手技・病理組織診断確認日・病理組織診断名の記載が必須
- ・組織診断による癌の診断確定を得ていること*が必要（細胞診による診断は不可）
*申請者自らが針生検などにより病理組織診断が行わなくても、最終的に”組織診断による乳癌の確定診断を得ていること”をフィードバックを受け、自らの画像診断の精度管理を行っていれば、この要件をクリアしていると判断します
- ・再発・転移に対する診断は認めない

【放射線治療】

- ・2021年の初診、もしくは新規治療開始症例
- ・乳癌症例記録(放射線治療)には、初診年月・原発、再発/転移・病理組織診断名・術式・照射部位・照射期間・照射線量の記載が必須

【薬物療法】

- ・2021年の初診、もしくは新規治療開始症例
- ・乳癌症例記録(薬物療法)には、初診年月・病理組織診断名・HR・HER2・治療ライン（術前/術後/進行再発）・薬剤名・投与期間の記載は必須
- ・殺細胞性抗癌薬に限る（ホルモン療法・分子標的治療のみ及びその併用は不可。抗体薬物複合体は可）
- ・殺細胞性抗癌薬の初回投与開始症例のみとし、治療の継続やレジメンの変更などは不可

V.申請先

メールにて事務局までお送りください

メールの件名を「認定関連施設申請(施設名)」にしてください

事務局メールアドレス：shisetsu@jbcgs.gr.jp

Excel のまま提出するものと PDF にするものがあります

VII. チェックリストにてご確認ください

申請書類の確認が完了次第、受領メールを送信いたします

申請時期により、確認に 2 週間程度かかる場合もありますので、ご了承ください

VI. 審査結果について

合否通知は年内に郵送にてお送りいたします

合格通知に認定料振込口座を記載いたします

認定料（20,000 円）の納付が確認でき次第、認定証を発送いたします

VII.チェックリスト

	No		提出形式	ファイル名	備考
<input type="checkbox"/>	-	証明書	PDF	nintei_証明書_施設名	
<input type="checkbox"/>	①	認定施設申請書	Excel のまま	nintei_申請書_施設名	
<input type="checkbox"/>	②	設備内容・実績報告書			
<input type="checkbox"/>	③	専門医履歴書			
<input type="checkbox"/>	④	勤務報告書			
<input type="checkbox"/>	⑤-1	乳腺認定医修練カリキュラム計画書			
<input type="checkbox"/>	⑤-2	乳腺専門医修練カリキュラム計画書			
<input type="checkbox"/>	⑥	認定施設における乳腺疾患に関する業績目録			
<input type="checkbox"/>	⑦	認定施設に所属する関連施設			関連施設無しの場合は「無し」にチェックを入れてください
<input type="checkbox"/>	⑧	2020年・2021年関連施設指導実績			関連施設がない場合は入力不要
<input type="checkbox"/>	⑨	乳癌症例記録	画像診断、放射線治療、薬物療法を選択の場合		
<input type="checkbox"/>	-	論文、学会発表等の抄録	PDF	nintei_論文_施設名、 nintei_発表_施設名、	⑥の添付資料として論文で一つのPDF、発表で一つのPDFにおまとめください